

- 情報通信研究機構と米国インディアナ大学との研究協力覚書の調印について
 - 平成17年4月4日
-

独立行政法人情報通信研究機構(以下NICT。理事長:長尾 真)は米国インディアナ大学との間で平成17年4月2日(土)、情報通信分野における研究協力に関する覚書に調印しました。

<背景>

TransPACプロジェクト(以下、TransPACという。)は、米国国立科学財団(NSF:National Science Foundation)が行う出資プロジェクトの1つで、安全で高いプロダクションクオリティを持つネットワークインフラをアジア米国間で展開することにより、アジア地域での高性能インフラの普及と、ネットワークを研究及び教育に使用することを目的としています。

NICTは、前身の旧通信総合研究所の時代から、TransPACに対し、米国インディアナ大学との研究協力を通して貢献しており、主に日米間回線のインフラ整備とアジア圏へのコネクティビティ提供といった役割を担ってきました。

<概要>

昨年、このTransPACの後継プロジェクトである「TransPAC2」がNSFから承認されたことに伴い、これまでの研究協力をさらに加速する意味で、TransPAC2の米国側代表であるインディアナ大学とNICTとの間で、4月2日に全日空ホテル(東京都港区)において、情報通信分野における研究協力の覚書の調印がなされました。

今回の調印はNICTに名称が変更されたことに加え、TransPAC2では、回線の一層の高速化と接続地域の拡大が図られることから、引き続きインディアナ大学とより密接な研究協力を実施していくことに同意したものです。

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
奥山 利幸、大野 由樹子
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<担当部門問い合わせ先>

情報通信研究機構 総合企画部
国際連携室
五十嵐喜良
Tel: 042-327-7478、Fax: 042-327-5321
